

数 学 問 題

- [1] $A = -x^2 + 3xy - 5y^2$, $B = x^2 - 4y^2$, $C = x^2 - 2xy + 2y^2$ のとき、
 $2(A - B) - 3(B - 3C) - 4(2C - B)$ を計算すると である。
 ① $-2x^2 - 4xy - 4y^2$ ② $-2x^2 + 4xy - 4y^2$
 ③ $-2x^2 - 4xy + 4y^2$ ④ $2x^2 - 4xy + 4y^2$
- [2] $\frac{\sqrt{3}}{\sqrt{3}-\sqrt{2}} + \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{3}+\sqrt{2}}$ を計算すると である。
 ① $\sqrt{3}$ ② 3 ③ $2\sqrt{6}$ ④ 6
- [3] $x^4 - 6x^2 + 1$ を因数分解すると である。
 ① $(x - 1)^2(x + 1)^2$ ② $(x - 1)^2(x^2 - 2x - 1)$
 ③ $(x^2 + 2x - 1)(x^2 - 2x - 1)$ ④ $(x^2 + 3x + 1)(x^2 - 3x + 1)$
- [4] $\sqrt{3 - 2\sqrt{2}} + \sqrt{6 - 2\sqrt{8}}$ を計算すると である。
 ① $3 - 2\sqrt{2}$ ② 1 ③ 3 ④ $3 + 2\sqrt{2}$
- [5] $2 + \sqrt{5}$ の小数部分を P とする。このとき $P - \frac{1}{P}$ の値は である。
 ① $-2\sqrt{5}$ ② -4 ③ $2\sqrt{5}$ ④ 4
- [6] 不等式 $|x - k| \leq 1$ の解が、 $2 \leq x \leq 5$ に含まれるような k の値の範囲は
 である。ただし、 $k > 0$ とする。
 ① $0 < k \leq 1$ ② $2 \leq k \leq 3$ ③ $3 \leq k \leq 4$ ④ $4 \leq k \leq 5$
- [7] 1 から 10 までの整数の集合を U とし、A, B はその部分集合とし、A, B の補集合を \overline{A} , \overline{B} とする。 $\overline{A} \cap \overline{B} = \{1, 9, 10\}$, $A \cap B = \{3\}$, $\overline{A} \cap B = \{2, 5, 8\}$ であるとき、A の要素である整数の和は である。
 ① 17 ② 18 ③ 19 ④ 20

[8] 放物線 $y = 2(x - 1)^2 - 3$ を x 軸方向に m 、 y 軸方向に n だけ平行移動したとき、放物線 $y = 2(x - 3)^2 - 4$ に重なる。このとき m 、 n は である。

- ① $\begin{cases} m = -2 \\ n = -1 \end{cases}$ ② $\begin{cases} m = -2 \\ n = 1 \end{cases}$ ③ $\begin{cases} m = 2 \\ n = -1 \end{cases}$ ④ $\begin{cases} m = 2 \\ n = 1 \end{cases}$

[9] x^2 の係数が 1 で、直線 $x = 2$ に関して対称で、点 $(3, 0)$ を通る 2 次関数は である。

- ① $y = x^2 - 4x - 3$ ② $y = x^2 - 4x + 3$
 ③ $y = x^2 + 4x - 21$ ④ $y = x^2 - 2x + 3$

[1 0] 関数 $y = -x^2 + 4x + c$ ($1 \leq x \leq 4$) の最小値が -3 であるとき、定数 c の値は である。

- ① $c = -7$ ② $c = -6$ ③ $c = -3$ ④ $c = 3$

[1 1] 放物線 $y = -3x^2 + 4$ と直線 $y = 12x + 16$ の共有点の座標は である。

- ① $(-2, -8)$ ② $(-2, 8)$ ③ $(2, -8)$ ④ $(2, 8)$

[1 2] 2 次関数 $y = x^2 - 2mx + 1$ のグラフが、 x 軸の正の部分と異なる 2 点で交わるように、定数 m の値の範囲を定めると である。

- ① $m < -1$ ② $-1 < m < 1$ ③ $0 < m$ ④ $1 < m$

[1 3] $\cos \theta = \frac{1}{4}$ ($0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$) のとき、 $\frac{\cos \theta}{1 + \sin \theta} + \frac{\cos \theta}{1 - \sin \theta}$ の値を求めると である。

- ① $\frac{1}{2}$ ② $\frac{\sqrt{15}}{4}$ ③ 2 ④ 8

[14] $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、 $2 \cos \theta - 1 = 0$ を満たす角 θ は である。

- ① 30° ② 45° ③ 60° ④ 90°

[15] $\triangle ABC$ において、 $BC = 2$ 、 $CA = 2\sqrt{2}$ 、 $AB = \sqrt{6} - \sqrt{2}$ のとき、 $\angle ABC =$ である。

- ① 30° ② 45° ③ 60° ④ 135°

[16] 円に内接する四角形 $ABCD$ において、 $AB = 4$ 、 $BC = 8$ 、 $\angle ABC = 120^\circ$ 、 $\angle ACD = 45^\circ$ であるとき、辺 $AD =$ である。

- ① $\sqrt{42}$ ② $\frac{4\sqrt{42}}{3}$ ③ $3\sqrt{7}$ ④ $4\sqrt{7}$

[17] $\triangle ABC$ において、 $AB = 5$ 、 $AC = 3$ 、 $\angle BAC = 120^\circ$ のとき、 $\triangle ABC$ の内接円の半径 $r =$ である。

- ① $\frac{\sqrt{3}}{8}$ ② $\frac{\sqrt{3}}{4}$ ③ $\frac{\sqrt{3}}{3}$ ④ $\frac{\sqrt{3}}{2}$

[18] 円に内接する四角形 $ABCD$ において、 $AB = 1$ 、 $BC = 3$ 、 $CD = DA = 2$ であるとき、辺 $AC =$ である。

- ① 2 ② $\frac{6}{\sqrt{7}}$ ③ $\frac{8}{\sqrt{7}}$ ④ 4

[19] 右の表は、ある高校生男子 40 人の身長を測定した結果を、度数分布表に表したものである。平均値は cm である。

- ① 170
② 170.5
③ 171
④ 172

階級 (cm)	度数 (人)
158 以上 162 未満	2
162 ~ 166	4
166 ~ 170	10
170 ~ 174	16
174 ~ 178	7
178 ~ 182	1
合計	40

[20] 母音 i, u, e, o と子音 d, s, t の 7 個を 1 列に並べるとき、少なくとも一端が子音である並べ方は 通りである。

- ① 1440 ② 2160 ③ 3600 ④ 5040

[21] 男子 10 人、女子 5 人の中から 6 人の委員を選ぶとき、女子を 4 人以上選ぶ選び方は 通りである。

- ① 225 ② 235 ③ 255 ④ 275

[22] 袋の中に赤玉 4 個、白玉 4 個、青玉 2 個が入っている。この袋の中から任意に 4 個の玉を同時に取り出すとき、4 個の玉の色が 3 種類となる確率は である。

- ① $\frac{8}{35}$ ② $\frac{16}{35}$ ③ $\frac{32}{105}$ ④ $\frac{8}{15}$

[23] 1 から 9 までの数を 1 つずつ書いた 9 枚の札の中から、同時に 3 枚取り出すとき、3 枚の札がすべて偶数であるか、またはすべて奇数である確率は である。

- ① $\frac{1}{21}$ ② $\frac{5}{42}$ ③ $\frac{1}{6}$ ④ $\frac{5}{21}$

[24] 数直線上を動く点 P が原点の位置にある。1 個のさいころを投げて、3 の倍数の目が出たときは P を正の向きに 1 だけ進め、3 の倍数でない目が出たときは P を負の向きに 1 だけ進める。さいころを 5 回投げ終わったとき、P の座標が 3 である確率は である。

- ① $\frac{10}{243}$ ② $\frac{40}{243}$ ③ $\frac{80}{243}$ ④ $\frac{160}{243}$

[25] 2 本の当たりくじを含む 8 本のくじを A、B、C の 3 人がこの順に 1 回ずつ引く。このとき、C が当たる確率は である。ただし、引いたくじはもとにもどさない。

- ① $\frac{1}{28}$ ② $\frac{5}{28}$ ③ $\frac{3}{14}$ ④ $\frac{1}{4}$